

# 保健現場 レポート

西部総合事務所  
福祉保健局  
健康支援課

副医長 藤井 麻耶 **366**

## 【実は知らないがん検診のあれこれ】

**がんで亡くなる人を減らすには…**

みなさんはがん検診を受診されていますか？先日ニュースにもなっていました。鳥取県は他県と比較し、がんで死亡する人が多い県です。都道府県別で見ると最新の2017年度の統計では46位と下から2番目でした。

がんを早期発見し、早期治療につながる一番手軽な方法はがん検診を受けることです。しかし、日南町のがん検診受診率は低く、中でも胃がん検診は、対象者の20%しか受診していない状況です。これを受け日南町では、胃がん検診に限らず全てのがん検診の受診率を80%にするという素晴らしい目標が掲げられました。

ただ、今までにがん検診を受けたことがない人にとっては、なんだか怖いし、面倒だし、自分には関係ないと思われる方もいらっしゃると思います。

**なぜがん検診は6種類なの？**

日南町では胃・肺・大腸・乳・子宮がんと肝炎ウイルスの6種類のがん検診が行われています。ここで、「もっと多くのがんの種類を聞いたことがあるのに、なぜこの6種類だけ？」と疑問を持たれた方がいらっしゃるかもしれません。有名人が発病し、ニュースになった膵がんや舌がんはがん検診に含まれていません。その理由は、がん検診は集団で行うために、発症する可能性が高く、治療法があり、早期発見することで死亡を減らすことのできるがんが選ばれ採用されているからです。

また、最近では「血液検査だけでがんが分かる」や、「唾液でがんが分かる」など、最新のがん検査が話題になっています。しかし、このような検査はがん検診の検査には含まれていません。これらには負担のない検査としては理想的なのですが、まだまだ見落としや、がんでない人をがんと診断してしまうなどのデメリットがある

ために、がん検診の検査方法としては採用されていません。

以上のような理由から、厳選された6種類のがんに対して有効性・安全性の確立された検査ががん検診として採用されています。住民検診で実施するがん検診は、発症の可能性があり、早期発見・治療に有効な検査を効率よく手軽に受けることができる検診なのです。

**ズバリ！  
がん検診を受けるべき人は？**

一方で、がん検診を受けた人全員のがん死亡を防ぐことができない現実があり、心苦しいですが事実なのです。ただ、これまでの研究の中で、これらの検診を受けることで、確実にがんの死亡を減らすことができるということが分かっています。それらを日南町ではすべて無料で受けることができます。がん検診を受けない人に理由を伺うと「具合が悪くないので」とおっしゃる人がいます。実は、検診を受けるべき人はどのような方かという点、ズバリ「健康」な方です。がん検診は症状が出る前のがんの早期発見・早期治療、がん死亡の予防が目的です。みなさんの健康な生活を維持するためにも、ご家族・お友達・ご近所さんも誘って受けてみてはいかがでしょうか。

## 住民検診速報!!～受診率80%を目指しています～

このたび、6月の住民検診を3日間行いました。受診者数は以下のとおりです。

住民検診受診者数(人)	令和元年6月	平成30年6月	増減
受付総数	319	320	△1
健康診査(特定・後期高齢・一般)	230	217	+13
胃がん検診(バリウム検査)	107	134	△27
肺がん検診	276	254	+22
大腸がん検診	260	260	0
子宮がん検診	80	103	△23
乳がん検診	72	90	△18

昨年度同時期とほぼ同数の方にお越しいただいています。まだ、今年度の検診が始まったばかりで状況の把握までできませんが、今後も受診状況をお伝えしていきます。

また、みなさまにご好評いただいている胃力メラによる胃がん検診は185名の方の申し込みがありました。まだ若干申し込みが可能ですので、受診を希望される方は、福祉保健課までご連絡ください。西伯病院での子宮がん・乳がん検診のお申し込みも引き続きお受けできます。

【福祉保健課 TEL 82-0374】

